

CSR

REPORT

2024



OUR WAY OF THINKING

私たちの考え方

自然と共存できるプラスチック製品 人々の健康に役立つオーラルケア製品

私たちは、住宅・食品・スマートフォン・車などあらゆる場面でプラスチックに支えられ、その恩恵で安全・安心な生活をおくっています。実際に「脱プラ」では生活できず、プラスチックは日常生活に欠かせない大きな役割を果たしています。

当社のビジョン(オーラルケア製品トップ企業)、使命(人々の健康と暮らしに貢献)、理念(従業員の成長と幸福)である「健口=健康=健幸」に基づき、これからも持続可能な地球と社会をめざし役割を果たしていきます。

持続可能な地球と社会



パーパス(存在意義)

365日を支える。

毎日の生活において欠かすことのできない日用品を提供し、
365日欠かさず生活を支えています。



ビジョン

- オーラルケア製品の生産・開発において世界トップ企業を目指す
- 一歩先のプラスチック製品を開発し、顧客に驚きと感動を与える企業となる

企業理念

- モノづくりを通じて従業員の成長と幸福を実現し市場のニーズに挑戦し続ける

→ CSR POLICY

ヤマトエスロンCSR方針

基本理念

人にやさしく 地球にやさしく

従業員一人ひとりが思いやりを大切に、責任を持った行動をします。

基本方針

私たちは、人々の健康と暮らしを支える企業として、
「未来をみつめ、考え、創造する」創業精神に基づき、
モノづくりを徹底追求し、持続可能な社会の実現に貢献します。

- 環境保全に配慮した事業活動
- 社会的課題を改善解決できる人材育成
- 主体的な社会貢献活動
- 健康で明るく働きやすい職場づくり
- 安全安心で価値あるサービスの提供
- 口腔ケアで人々を健康に幸せにする
- 健全な経営の維持

→ TOP MESSAGE

人間が生きていくためには、食べることは不可欠です。体の「健康」を維持するためには、お口の「健康(健口)」は欠かせません。そのためには、いつまでも自分の「健康な歯」を保ち続けることが必要です。当社では、日々の口腔ケアに欠かせない「歯ブラシ」を90年以上つくり続け、いまでは歯ブラシ・フロスなど様々なオーラルケア製品を提供しています。

歯は一度失うと二度と再生しませんが、地球環境も同じです。

持続可能な地球環境の実現には、プラスチック=悪という単純な風潮ではなく、紙、木、鉄、水、あらゆる限りある資源を大切にしなければいけません。なによりフードロス削減など人類の大きな行動変容が求められています。当社では「人にやさしく 地球にやさしく」を共通スローガンとして、多くの社会課題、環境配慮への取り組みをすすめてまいります。

松永 貴至

ヤマトエスロン株式会社 代表取締役社長

INDEX 目次

03-04

環境への取り組み

05

社会貢献活動

06

口腔ケアで人々を幸せにする

07-08

オーラルケア×防災

09-10

人材育成について

11-12

健康で働きやすい職場づくり

13

コーポレートガバナンス
リスクマネジメント&
コンプライアンス

14

会社情報
歴史

ENVIRONMENTAL INITIATIVES

環境への取り組み

当社では全社で環境への取り組みを推進しており、CO₂排出量の削減、環境対応製品の開発など、積極的に取り組んでいます。

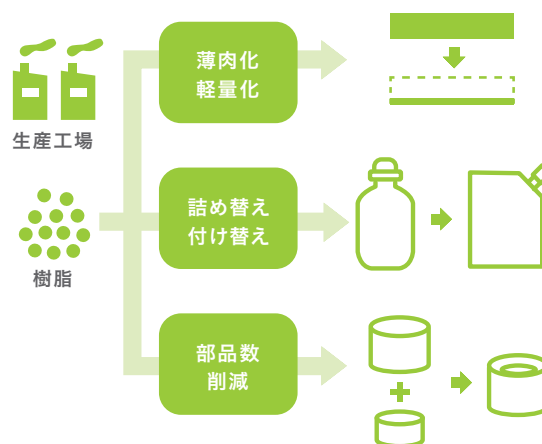


ヤマトエスロン中長期環境目標指針

2030年までに当社取り扱い製品の**80%**を環境対応製品に置き換える

2023年実績 **53%**

- 1 従業員ひとりひとりが環境保全の意識を持ち行動する
- 2 資源・エネルギーの大切さを理解し、有効利用に努める
- 3 環境に配慮した製品の開発を推進する
- 4 環境に関する法的要求事項を遵守する
- 5 社会における環境保全活動に積極的に参画する



環境対応製品の開発

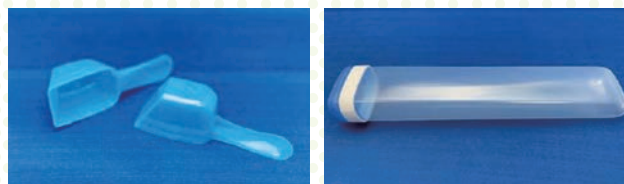
バイオマス原料の使用促進

|(例) バイオPE



リサイクル原料の使用推進

|(例) PP,PE 粉砕



樹脂量の削減

(減量化、薄肉化、パーツ数減など)

一般的な歯ブラシの樹脂量(約10g)を極限まで削減した歯ブラシは **2.5g!!**

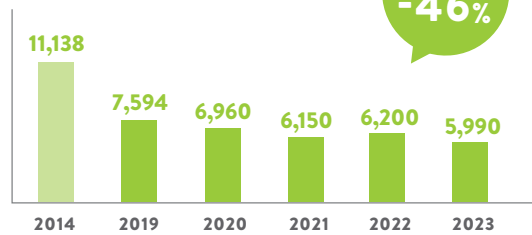


低炭素社会に向けて

取組結果 過去10年間でCO₂排出量 **46%削減**

CO₂排出量推移 (単位:t)

(2014年から2023年)



産業廃棄物量 2023

(2023年4月から2024年3月)

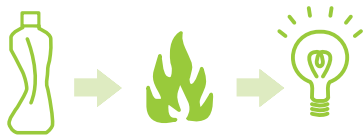
320t

プラスチックの将来に向けて

プラスチックのリサイクル方法には大きく分けて3つあり、いわゆる「リサイクル」として一般的にイメージされているのは「マテリアルリサイクル」です。(日本ではサーマルリサイクルが最多)

リサイクル3つの方法

ペットボトルリサイクルの場合



サーマルリサイクル

エネルギーを回収



ケミカルリサイクル

科学的に処理



マテリアルリサイクル

再利用

マテリアルリサイクルの仕組み



原材料としての品質を保つためには、分別や洗浄が重要。

マテリアルリサイクルは工程が長く、膨大なエネルギー、コストがかかります。またその原材料を利用できる製品も限られ、長い年月をかけ仕組みが確立しているペットボトルであっても、ボトルからボトルへの割合は約30%。

リサイクルには消費者・市町村・専門メーカーと、様々な協力者が必要です。

リサイクルをめぐる課題や技術など、現状をしっかりと理解し、将来への取組みを考えていきます。

➡ SOCIAL CONTRIBUTION ACTIVITIES

社会貢献活動



「人にやさしく」のCSR基本理念に基づき、
全従業員が思いやりを持ち、社会貢献活動に取り組んでいます。
各事業所の取り組みについてご紹介します。

静岡工場

技能実習生とのよりよい関わり方について、勉強会を実施。
海岸沿いの松林を守り育てる活動にも参加しました。



関東工場

国際女性デーに合わせて工場イベントを開催しました。
小学生向け工場見学では従業員も元気もらいました。



大阪工場

継続的な工場周辺の美化活動に加え、大和川のごみ拾いを行いました。



福岡工場

ビーチのごみ拾いを行いながら走るマラソン大会に参加!
献血は近隣企業にもお声がけし協力しています。



タイ工場

火災被害を最小限に抑えるため、消防車を購入。
また、県より障がい者雇用促進企業として表彰されました。



➔ Happiness through oral care

口腔ケアで人々を幸せにする

90年以上培った技術を生かし、
「健口＝健康＝健幸」につながる活動に取り組んでいます。



国民病と言われる歯周病



口腔細菌検出装置 orcoa (オルコア) で 予防歯科を推進!

歯周病は日本国民が歯を失う原因の第一位であり、糖尿病や誤嚥性肺炎との関連性も明らかになりつつあります。そのような中で、オルコアは歯周病の原因菌である「歯周病菌」の検査を手軽に行える機器として開発しました。歯周病リスクの検査や予防プログラムを受診することで、歯周病に怯えることなく健康で幸せな生活を長く送っていただきたい。それが約100年に渡って歯ブラシを作り続け、皆さまの「健口」を支えてきたヤマトエスロンの使命と考えております。

細菌検査の応用

オルコアは新型コロナウイルスの検査でも使われているPCRと言う技術が使われている装置です。この原理を利用して全く別の使い方をする事で皆さまを『健幸』にする試みも始まっています。

このオルコアの技術を活用し、 口腔内以外の分野であるスキンケアへ

その場ですぐにお肌の皮膚常在菌を測定できる装置「肌こあ」を株式会社資生堂と共同開発しました。2024年からイベントでの運用がスタートしており、お客様にもご好評をいただいております。

肌の状態を「測る」時代へ…



ORAL CARE × DISASTER RISK REDUCTION

オーラルケア × 防災

災害時も「365日」の1日。「365日を支える」をパーパスに掲げる当社は、2021年よりオーラルケア×防災の取り組みを開始しました。

災害時の口腔ケアの重要性

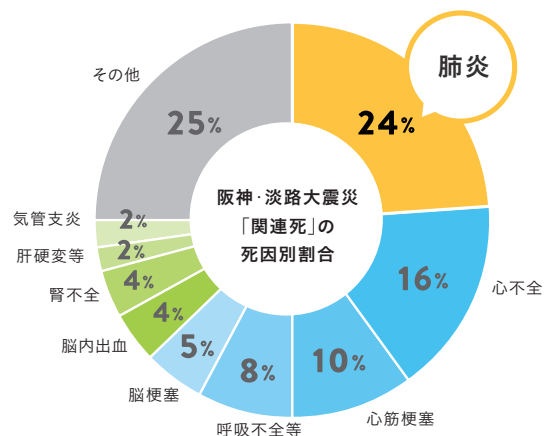
災害時など、非常時には水の確保が難しくなるため、お口のケアは後回しになりがちです。しかし、オーラルケアが疎かになるとお口の細菌が増え、さまざまな病気の原因に。いつもの通りの生活が送れないときだからこそ、オーラルケアは大切です。

被災された歯科医師のお話

私は、1995年に発生した阪神・淡路大震災で被災しました。避難所での支援活動の中で多くの高齢者が関連死、とくに誤嚥性(ごえんせい)肺炎で亡くなるのを目の当たりにしました。東日本大震災や豪雨災害でも肺炎が関連死の中で最多です。誤嚥性肺炎の原因は口の汚れ(細菌)です。口腔ケアが命を守るのです。

さらにお子様の場合

救援物資には日持ちのする、甘いお菓子やパンも多く、むし歯になる人が増えると言われています。大人の歯に比べて歯質の弱い子どもは、なおさらです。



※2004年5月14日付神戸新聞記事より作図

無水ハミガキセットの開発

「もしもの時、ハミガキで救えるいのちがある」をコンセプトに、水がなくてもハミガキができるセットを考案し、2023年3月11日に発売開始しました。

無水ハミガキセット商品概要

- 無水ハブラシ 6本
- フロス 6本
- YEハミガキシート(口腔化粧品)1袋(10枚入)
- リーフレット

救援物資が届くまでの3日間を想定した1人分のセットです。(2回/1日使用想定)



梅田防災スクラム 第2回 いつものもしもCARAVAN神戸

大阪・梅田の商業施設にて開催の「梅田防災スクラム」や、神戸市の都市公園で行われ、世代を超え楽しく防災を学ぶ「いつものもしもCARAVAN」に出展。大阪エリアは本社の各部署が順番にイベント担当となり、準備運営までを行っています。当社ブースの「災害時のオーラルケアクイズ」「歯ブラシ重さ当てチャレンジ」はお子さま連れのご家族に大人気。広い世代へ歯ブラシに関心を持ってもらう取り組みを行うことができました。



関西学院大学「防災キャンプ」

関西学院大学にて行われた「防災キャンプ」に、参加協力を行いました。当社は1日目の「焚火でトーク」に参加。代表松永より学生の皆さんに、災害時の口腔ケアの重要性についてお話をしました。



無水ハミガキの売上の一部を寄付

赤い羽根共同募金寄付つき商品募金百貨店プロジェクト「ハミガキでいのちを救おうキャンペーン」に参加。当社本社が所在する大阪府八尾市に無水ハミガキの売上の一部を毎年寄付することになりました。



被災地への無水ハミガキ寄付

2024年1月に発生した能登半島地震に関連し、AAR Japan[難民を助ける会]様を通じて、被災地へ「無水ハミガキ」を寄付しました。震災発生から6週間余りを経ても断水が続く地域において、障がい者支援施設や介護施設等を中心に配布。「こういうものが欲しかった!」と好評の声が届いています。

通常の歯磨きができない環境で「指をけがしてしまう恐れがあったが、これで安心して歯磨きの介助ができる」「利用者の口腔ケアが行き届かない状況で、無水歯ブラシはしっかりした製品で助かる」と、大変嬉しいコメントもいただきました。

これからも皆様に役立つ製品開発を継続したいと考えております。



▲ご活用いただいている施設の皆様

ABOUT HUMAN RESOURCES DEVELOPMENT

人材育成について



まもなく迎える100周年。

「ワンチーム、共に成長、共に挑戦」をスローガンとし、人材育成に取り組んでいます。



「モノづくり=人づくり」モノづくりを通じて従業員の成長と幸福を実現する

人材育成の重要性

人材育成が土台となり、売上達成や原価低減が可能となる。個人の成長がなければ会社の成長はないと考えます。

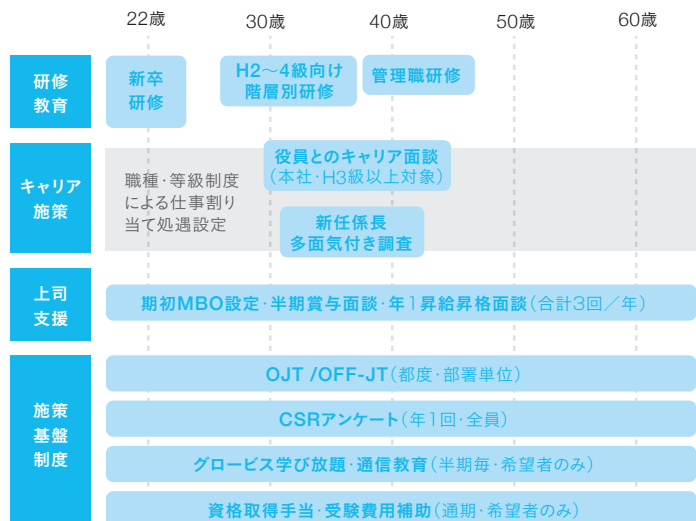
100周年に向けて「主体的な行動・問題解決ができる人・組織」を目標に掲げました。

モノづくりは人づくり



人材育成 基本方針

- 1 自ら考え、行動し、社会課題を解決できる人材を育成する(社会課題解決)
- 2 ヤマトエスロン行動指針を実践する(行動指針)
- 3 人が育ちやすい職場環境をつくる(職場環境)
- 4 成長する機会を積極的に提供する(機会の提供)
- 5 失敗から学ぶ(失敗学)
- 6 チャレンジした人をより評価する(評価制度)



2024年現在 人材育成マップ(本社) ▲

タイ会社との技術交流会

生産効率化、省人化、不良低減等生産改善をテーマに、タイ工場の技術者メンバーが来日。本社から始まり大阪、静岡、関東工場の現場見学を行い、技術者同士の情報交換や懇親を深めることができました。



社内勉強会・交流会の促進

工場・研究開発部門が連携しての若手技術者育成活動として、社内技能検定の実施や技術者の工場間交流などを開催。また各工場での装置、電気勉強会やPCセミナーなど、事業所を超えた社内勉強会・交流会を実施しています。



改善活動の推進

全工場チーム毎にテーマを決め、1年を通して活動を行っています。年末には全事業所をWEBで繋ぎ優秀賞の発表会を実施し、最優秀賞を決定。全社で個人活動の提案も積極的に実施され、2023年は全社で合計約3,000件となりました。



5S活動の推進

全事業所にて5S活動を推進しています。活動を通じて自己の成長ならびに働きやすい職場づくりを全員参加で取り組んでいます。当社・静岡工場の改善活動事例が「創意とくふう」の22年4月号特集記事として掲載されました。



社内研修制度

階層別研修、通信教育にてキャリアや自己研鑽のため、研修メニューを用意しています。特に通信教育はコース数も多く、成績優秀者においては会社からの費用還付もあります。

社内表彰制度

会社に対して優れた貢献があった活動へ表彰を行っています。各事業所にて独自で表彰制度を設けており、製品開発表彰やナイスセーブ賞、グッドジョブ賞などユニークな制度が魅力です。

資格取得制度

資格取得制度として規程を定めており、社内所有資格累計としては700件以上となります。自己研鑽を行う従業員のため、該当する資格の場合、資格取得日が土日の場合には出勤扱いとして、平日に振替休日を取得できます。また、資格取得時には会社からの表彰ならびに金一封を用意しています。

挨拶運動の推進

当社では、毎日のコミュニケーションで最も頻度の高い挨拶を重要であると考え、各事業所で挨拶運動を推進しています。気持ちの良い挨拶によって、良好な職場環境が維持できるよう努めています。

→ CREATING A HEALTHY AND COMFORTABLE WORKPLACE

健康で働きやすい 職場づくり



社員の健康やワークライフバランスに配慮した働きやすい職場づくりを実現しています。

健康促進

健康経営優良法人2024認定

当社の従業員の健康に関連する取り組みが認められ、2024年3月に認定を受けました。



健康・予防歯科セミナー

産業保健師や歯科衛生士の先生をお招きし、健康セミナーや口腔ケア啓もうのための社内勉強会を行っています。



インフルエンザ予防接種・歯科検診

各事業所へ先生にお越しいただき、希望者にはインフルエンザ予防接種や歯科検診を全額会社負担にて実施。ヘルスケアに関わる企業として、積極推進をしています。



働きやすい職場づくり

女性活躍推進、育児介護支援



全社で残業削減の積極推進



その他の制度や福利厚生

- 時間有給、半日有給、時差出勤
- テレワーク
- フリーアドレス
- 服装自由化
- 結婚、出産、小学校入学祝い金
- 奨学金返済支援制度 (現利用者:25名)

- 生理用品の設置
- 育児時短勤務 (小学3年生まで取得可能)
- 懇親会への補助
- 工場での職場環境改善 (食堂、トイレ、ロッカーなど)

社員公募で食堂の名前が決定!



社内イベントや多種多様なクラブ活動を通じたコミュニケーション

社内イベントや全拠点で40以上あるクラブ活動を通じて、従業員同士のコミュニケーションを促進しています。

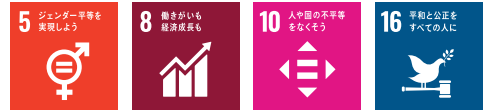
クラブ数

40 クラブ



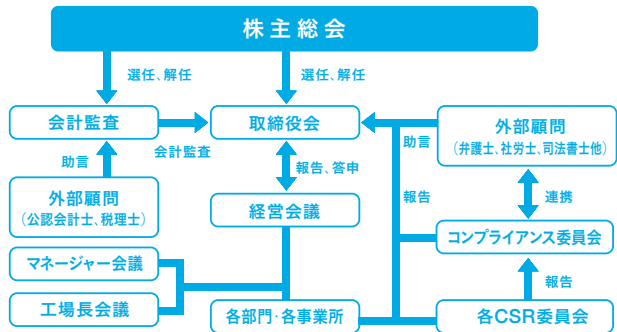
CORPORATE GOVERNANCE RISK MANAGEMENT AND COMPLIANCE

コーポレートガバナンス リスクマネジメント&コンプライアンス



コーポレートガバナンス

取締役会のみならず、各部署長(マネージャー会議、工場長会議)や専門プロジェクトメンバーの意見を取り入れる仕組みが構築されています。また外部顧問として弁護士、社会保険労務士、司法書士、税理士などの専門家からの意見収集を適宜行い、迅速かつ健全な会社運営を行っています。また社内アンケートや個人面談により従業員との関係性を大切にしており、規則だけでなく、日ごろからの良好なコミュニケーションを取ることで課題となる事項を事前に吸いあげ、よりよい職場環境づくりをしています。



リスクマネジメント

様々なリスクに対して予防活動や拡大の抑止を行っています。自然災害においてはBCPガイドラインを作成し、従業員向けの掲示板の設立など適宜見直しを行っています。従業員の健康リスクにおいて、新型コロナウイルス対応は職場環境の感染対策を徹底、また過去よりインフルエンザ接種を会社負担とし全事業所で実施するなど、会社主導でリスク低減を推進しています。

コンプライアンス

企業活動が適切に実施されていることを常に確認し、従業員が高い倫理観を持ちコンプライアンスの徹底を意識した取り組みを進めています。ベトナム人技能実習生の受け入れにおいても、率先してベトナム文化を学ぶセミナーを開催するなど、国籍を問わず人間尊重の精神が根付いています。

CSR調達…サプライチェーンCSR行動指針

- 1 従業員の人権を尊重し、非人道的な行為はしない
- 2 従業員に対して法令に反する強制労働・児童労働を行わない
- 3 雇用における性別・人種・宗教等による差別や各種ハラスメントを行わない
- 4 法定最低賃金を遵守し、従業員の労働時間・休日を適切に管理する
- 5 従業員に対して安全で衛生的かつ健康的な労働環境の提供に努める
- 6 製品・サービスの品質・安全性を確保する
- 7 事業活動において地域社会と生物多様性・環境汚染への影響に配慮する
- 8 法令および国際ルールを遵守し、公正な取引および腐敗防止を徹底する
- 9 機密情報、個人情報を適切に管理する

情報セキュリティに関する方針

自社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、全社で情報セキュリティに取り組む。

中長期目標 2030年まで継続して毎年情報漏洩ゼロを目指す。

個人情報の対象例：取引先の従業員・役員に関する個人情報、お問い合わせ・相談等の申出者等に関する個人情報、採用応募者に関する個人情報など

1. 経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努める。
2. 情報セキュリティの維持及び改善のために組織を設置し、情報セキュリティ対策のための社内体制を整える。
3. 従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識・技術を定期的に習得し、情報セキュリティへ積極的に取り組む。
4. 当社は情報セキュリティに関わる法令、規則、規範、契約上の義務を遵守するとともにお客様の期待に応える。
5. 情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には、適切に対処し再発防止に努める。
6. コンピューター・ネットワーク上の脅威に対する防衛策を講じて、自社及び他社に被害を与えないように管理する。
7. 顧客・第三者・従業員の個人情報を適切に保護する。
8. 顧客・第三者から得た機密情報を適切に管理・保護する。

※この方針は年1回見直しを行い、必要に応じて修正する ※情報セキュリティ委員会が担当し、グループ会社を含む従業員を対象とする

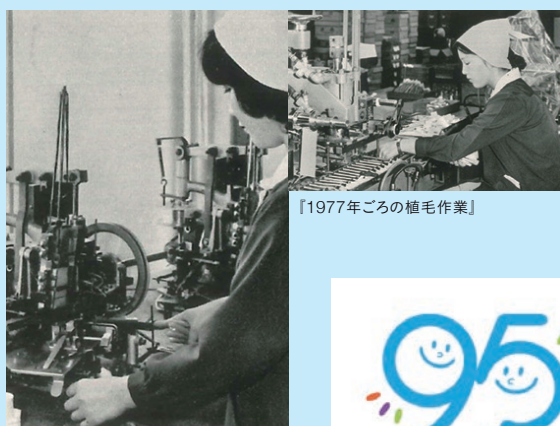
会社情報

社名	ヤマトエスロン株式会社
所在地	【本社】 〒581-0803 大阪府八尾市光町1丁目61番地 八尾駅前嶋野ビル4階 TEL.072(991)1261(代表) FAX.072(993)7856
代表者	代表取締役社長 松永 貴至
設立年月日	1956年3月15日(創業1928年8月9日)
資本金	1億円
従業員数	541名
主な事業内容	各種合成樹脂製品の製造販売、歯ブラシ・歯間ブラシ・ヘアブラシ 及び各種ブラシの製造販売、化粧品容器の製造販売

*資本金、従業員数は、2024年3月末現在の数値

歴史

昭和3年に大阪府八尾市にて歯ブラシメーカーとして創業スタート。八尾市は歯ブラシの一大生産地であり、当社は大手企業のOEM(相手先ブランド)生産を中心にオーラルケア製品のトップメーカーとして発展。独自の技術開発により、植毛から最終パッケージまで自社内で一貫生産し、日本だけでなくグローバルに製品を提供しています。



【1977年ごろの植毛作業】



【草創期の歯ブラシ】



【20年11月受賞(はばたく中小企業300社)】



【95周年記念】



【2025年 大阪・関西万博に出展】

